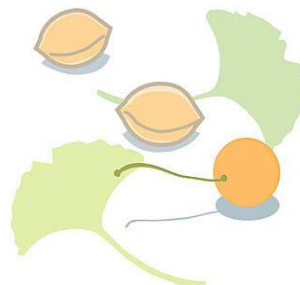


令和4年度 11月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	15回
2	延べ従事補導委員数	27人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	132人



11月の補導日誌から

11月1日(火) 街頭啓発活動(岩村田駅) 1班 (Y・R記)

概要

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。早朝より市職員と補導委員11名で岩村田駅にて「信州あいさつ運動」の街頭啓発活動を行いました。これは、家庭や地域でお互いにあいさつすることにより、みんながつながり、地域を元気にし、地域ぐるみで子どもを見守り、育ちを応援する運動です。たすきを掛け、通学・通勤の方へ大きな声で、「おはようございます。あいさつ運動をしています」と元気にあいさつをしながら啓発用のポケットティッシュを配布しました。駅を利用する人だけでなく、赤信号で止まった運転手の方や、徒歩で通学する中学生・高校生・社会人の方に声をかけながらポケットティッシュを渡すと、ほとんどの方が「おはようございます」とあいさつを返してくれます。とても気持ちのよい朝です。子どもの健やかな成長を見守り、支援することは大人の責任です。さまざまな思いを込めて、500個のポケットティッシュをあいさつとともにすべて配布し、大変有意義で気持ちよい早朝の活動を終えることができました。

11月2日(水) 7班 (S・Y記)

巡回経路 浅間会館 → 鼻顔公園 → 湯川団地 → 紅雲台区公園
→ 平根児童館 → 大型スーパー → 駒場団地 → 浅間会館

補導の様子

冷え込みのせいか、人気もまばらな公園や団地を車で巡回。紅雲台区公園では、低学年の児童が遊具で遊んでいた。近くで道路工事を行っていたので注意してほしい。平根児童館では、30人程の子どもたちがサッカーや虫取り。「家で虫を大きい箱に入れて飼う」という子に母親は「いやだ」と微笑ましい光景であった。迎えの親も3組くらいいた。大型スーパー内フードコートの利用者は少なかったが、店内は買い物客でにぎわっていた。新型コロナウイルスに気を付けて活動をしていきたいと思えます。

11月4日(金) 3班 (K・W記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

補導の様子

寒さが肌で感じられるようになった今日、市民交流ひろばには数組の親子が遊んでいた。時間が早いのか児童生徒の姿は見られなかった。ミレニアムパークでは、若者4名がスケートボードで遊んでいた。佐久平駅前ロータリーに紙袋が2つ置かれていた。気になり中を見たところ、洋服が入っており持ち主がすぐに現れるのではと思われたのでそのままにした。大型スーパー内のゲームコーナーにも児童生徒の姿は見られなかった。

11月7日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 安原公民館 → 鼻顔公園 → 中央公園 → 岩村田公園
→ 枇杷坂公園

補導の様子

感染レベルが上がったため、補導委員の皆さんとの街頭補導が中止になった。電話連絡が取れない方に中止連絡の文書を届けながら街頭補導を行った。安原公民館では、何人かの小学生が集まって話をしていた。ここの公民館では子どもたちをよく見かける。広さもあり、区のまん中あたりにあるので集まりやすいのだろう。異学年の子どもたちが地域で遊ぶ様子は、田舎の良さだなあと感じた。鼻顔公園では、小学生の孫を連れての方が、一緒にマレットゴルフをしていた。話しかけると小学校2年生の女兒でマレットゴルフがおもしろくて仕方がないという。おじいさんにせがんで連れてきてもらったようだ。2人ともとてもいい雰囲気です遊んでいた。そのほかの公園では子どもたちに出会わなかった。

11月8日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 公園(近津南、ねむのき、やまぼうし、ゆりのき、枇杷坂、若宮児童、一本柳、駒場北、ひよこ)

補導の様子

主に浅間地区にある公園9か所を訪問した。多くの公園は、桜やイチョウなどの赤や黄色の落ち葉でじゅうたんが敷き詰められたように彩りが添えられていた。近津南公園では、未就学児童とその母親が遊具で遊ぶほほえましい姿があった。ねむのき公園では、女子中学生3名がスプリング遊具にまたがり話をしていた。声かけすると明るい返事が返ってきた。仲の良い友達同士とのことで、下校途中に公園に立ち寄り、勉強のことや友人のことなど話しているとのことだった。「中学生生活は楽しい」と話してくれた。陽が沈むのが早いので早く帰ようと話す。「はい」と素直な返事をしてくれた。他の公園には人影がなく、ふと寂しさを感じる初冬の穏やかな景色だった。

11月9日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 佐太夫町公園 → 横町公園 → 平賀新町公園 → 水上公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

補導の様子

秋の空気は清涼で、街路樹が日に照らされて赤く輝いている。佐太夫町公園に人影はなかったが、小春日和の横町公園では、シルバー人材センターの職員が、落ち葉を集めていた。水上公園では、小学生の姉妹が遊んでいた。小学校3年生だという姉は、1年生の妹を気遣いながら、明るく応答してくれた。近

所の施設の職員だという女性に話をうかがうと、「休日には子どもをよく見かける。ゴミを置いて帰る方がいて、地域で片づけていただいた」と話してくれた。橋場公園では、子ども連れの母親や、お孫さんを遊ばせているお年寄りとしばらくお話をさせていただいたが、地域の公園の役割を再認識させられた。成知公園では、4年生の男児2人がポケモンのゲームに興じていた。遊具の周りでは、子どもたちが鬼ごっこをして走り回っていた。近くにいた母親は、「家に帰ってから遊びに来ている。広い公園で、サッカーや野球もできてありがたい」と話してくれた。4時半を過ぎる頃には日も傾き肌寒い。「秋の夕陽に・・・」口ずさんでみた。

11月11日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 佐久総合運動公園 → 旧平賀保育園 → 平賀神社
→ 田口児童館周辺 → 五稜郭公園 → 青沼児童館周辺
→ 下越公園 → 下の宮児童公園

補導の様子

山々が色とりどりに染まるなか、臼田方面の街頭補導を行った。佐久総合運動公園は利用者がほとんどなく静かだった。旧平賀保育園の庭では、近所の小学生が1人で遊んでいた。平賀神社では、帰宅途中の男子中学生5人が集まって話をしていた。声かけすると全員が2年生だった。学校のこと、部活動のことなど忌憚なく話をしてくれた。平賀神社は公園になっているのでよく利用するという。頑張るよう励まして後にした。田口小近くでは、横断後会釈をする子どもたちにさわやかさを感じ、下の宮児童公園では、ゆっくり通り過ぎる私たちに向かってお辞儀をする子どもたちに、温かさを感じた街頭補導であった。

11月14日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 横和神社 → 千曲川スポーツ交流広場 → 県神社 → 榛名平公園
→ 前山グラウンド → 泉団地内公園 → 泉野団地内公園

補導の様子

通常の街頭補導活動で訪問する機会が比較的少ない高瀬・岸野・前山方面を重点に街頭補導活動を実施した。千曲川スポーツ交流広場のマレットゴルフ場では大勢の人が楽しんでいたが、ほとんどが高齢者であり、子どもの姿はなかった。泉野区集会場に隣接する公園では、落ち葉が舞い散る中、5～6名の児童が追いかけてっこをして楽しそうに遊んでいた。この穏やかな光景を祖父と思われる方が見守っていた。そのほかの神社や公園等には、肌寒い気候や新型コロナウイルスの感染増加が影響しているのか、子どもの姿はなかった。

11月16日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

補導の様子

うららかな小春日和が続いている。街路樹の落ち葉を踏みしめる感触が心地よい。市民交流ひろばの芝生は秋の終わりを感じさせる。多くの親子連れでにぎわっているが、そろそろ帰り支度を始めている。珍しく、プレイサークルの利用者はいない。ミレニアムパークにも人影はなく、木々は葉を落として冬支

度を始めている。佐久平駅付近には下校を急ぐ中学生の姿が多く見られた。大型スーパーのゲームコーナーに足を運ぶと、親子連れや高校生でにぎわっていた。「特別なことはないが、今日はお客さんが多い」と店員さんが話してくれた。コロナ感染が拡大傾向であると伝えられるが、中心繁華街の人出は増しているように見える。感染が収束し、穏やかな日常が訪れることを切に願う。

11月17日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 成知公園 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 平賀新町公園
→ 水上公園 → 橋場公園 → 城山公園

補導の様子

中込地区の公園を中心に補導活動を行った。成知公園では、幼児の家族連れから高校生まで 30 人近くの方が利用していた。小学生に話を聞くと、学校で研究授業があり早くに下校になったようだ。3人でキャッチボールをしていた子どもたちに話を聞いた。体も大きくかなり技術的にも高いので、中学生に見間違えたが小学生であった。地元の少年野球チームに所属していて、チームはよい成績をあげているという。問いかけにきちんと答える姿には、スポーツマンらしさを感じた。小さい子も近くで遊んでいるので「配慮してね」と話をすると、素直な返事が返ってきた。また、サッカーボールを蹴っていた2人組に声をかけると1人は高校3年生だった。「受験勉強もあるけど、少しは体を動かさないと」と、さわやかな笑顔で対応してくれた。その他の公園でも印象のよい元気な子どもたちに会え、たくさん話げできた補導活動であった。

11月18日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 あいとぴあ臼田 → 臼田駅 → 稲荷山公園 → 臼田図書館
→ 切原児童館 → 下の宮児童公園

補導の様子

木々の葉もほとんど落ち、落ち葉いっぱい稲荷山公園を訪れた。比較的暖かかったが人出は少なかった。散歩をしている数人の方がいた。四阿で話をしている高校3年生の男子2人に話を聞いた。「受験勉強の合間に友達と話すといい気分転換になるんです」と笑顔で話してくれた。精一杯励ましの言葉をかけてさよならを言った。臼田図書館では、昨日は学校の下校が早かったので、学習スペースは中高生でいっぱいだったようだ。早くなっていた開館時間が午後6時まで延びたのも利用のしやすさにつながっているようだ。また、マナーに関しても問題ないと話してくれた。切原児童館では、小学校低学年の子たちが元気な声を出して砂場で遊んでいた。1年生の3分の2は児童館を利用しているという。家庭にとって児童館は本当にありがたい存在だと思う。暗くなりかけていたが下の宮児童公園では、20人以上の子どもたちが遊んでいた。パトカーが赤色灯を回して止まっていたので、何かあったのか聞いてみると「夕暮れ時の交通安全と子どもたちの見守りのために、来られるときはほぼ毎日来ている」と話してくれた。少年センターの活動の様子もお話した。ありがたいことだと感じた。警察官のていねいな対応にも心が動いた。

11月21日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 市民交流ひろば → 近津南公園 → 佐久平浅間児童館

→ ねむのき公園 → 枇杷坂公園 → 中央公園 → 岩村田公園
→ 岩村田児童館

補導の様子

浅間地区の公園と2つの児童館を巡回した。陽気がよかったためか、特に市民交流ひろばは、多くの親子連れで賑わっていた。そのほかの公園でもいつもより人出を多く感じた。中央公園のベンチで話をしていた男子中学生3人に話しかけると笑顔であいさつを返してくれた。学校帰りに部活の仲間と寄り道をして話をしていたとのこと。声かけに快く応じてくれたことにお礼を言い後にした。佐久平浅間児童館では、130名程が利用していたが、コロナ感染症への自粛傾向で今は1～3年生を中心に70名位が利用しているようだ。異学年での仲間関係のよい面も大きい。利用者間のトラブル、3密回避など相当気を使っている様子がうかがえた。岩村田児童館では、1年生が上級生と一緒に一輪車やけん玉をやることで上達が目覚ましいという。どちらの児童館でも異学年での交流が子どもたちの成長に大きく寄与している様子を聞くことができた。

11月22日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 仙祿湖公園 → ネットカフェ
→ ゲームセンター → 曾根公園 → 久保田公園

補導の様子

空一面を灰色の雲がおおっている。まず立ち寄った大型ゲームセンターでは、人影はまばらであった。店長さんは、「子どもたちはおとなしく、特に問題になるようなことはない。平日は子どもより年配者が多い」と話してくれたが、確かに店内には年配者の姿が目立った。仙祿湖公園では、お年寄りがポールウォーキングをしていたが、子どもの姿はなかった。曾根公園、久保田公園は晩秋の装いで、人影はなかった。ネットカフェでは、女性店員さんに少年センターの活動についてお話し、最近の様子をうかがった。最後に訪れたゲームセンターに子どもの姿はなかった。そろそろ日が暮れかかる市街地で、帰宅を急ぐ小学生の姿を見かけた。青信号で安全を確認すると、足早に車道を横断し駆けだした。車のバックミラー越しに後姿を見送った。

11月28日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅
→ 大型スーパー内ゲームコーナー → フードコート

補導の様子

11月も最終週となったが、例年にない温暖な気候が続いている。とはいっても、街頭に出ると冷たい風が身に染みる。市民交流ひろばは、夏のようなにぎわいはない。数組の親子を見かけたが、帰り支度を急いでいた。管理人さんは、「冬季の公園利用者は少ないものの、園の管理は欠かせない」と話してくれた。プレイサークルでは、数名の若者がスケートボードを楽しんでいた。佐久平駅の小海線乗り場につながる通路に、到着した列車から10名ほどの利用者が降りてきた。目の合った一人の高校生が「こんにちは」とあいさつしてくれた。こちらにあわてて「こんにちは」と返したが、こちらから先にあいさつしてやればよかったと後悔した。大型スーパーのゲームコーナーの来店客は少ない。隣接するフードコートは、数人の高校生がスマートフォンを操作したり、学習し

たりして過ごしていた。冬は駆け足で近づいてくる気配だが、この大型スーパーの店内には穏やかな空気が流れている。

11月29日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 佐久城山児童館 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園
→ 中込児童館 → 成知公園

補導の様子

車のウインドウには細かな雨粒が当たっているが、傘をさすほどではなさそうだ。佐久城山児童館の前で大勢の児童がスクールバスを待っていた。児童館内も子どもたちの元気よい声が響いている。「こんにちは」と声をかけると、その何倍も大きな声で「こんにちは」と返してくれた。「コロナ感染対策が難しい」と女性スタッフが話してくれたが、子どもたちにとって、密を避け、館内で静かに過ごすことは至難のわざだと感じた。平賀新町公園に車を止めると、2人の子どもがボール遊びをしていた。「また会いましたね」と話しかけてくれたが、どうしてもその子を思い出せない。それでも、「こんにちは」とあいさつし、兄弟だというその子たちとしばらく話した。中込児童館の利用児童はさほど多くない。日も暮れかけて、子どもたちは迎えの親を静かに待っていた。成知公園では8名ほどの子どもを見かけた。6年生の女子2人がバレーボールをしていた。「上手だね」と声をかけると、うれしそうに「普段からクラブで練習している」と話してくれた。「遅くならないようにね」と言うと、「はい」と明るく答えてくれた。

◀ 11月の補導を終わって 専門補導委員より ▶

中東の国カタールで開催されていたサッカーワールドカップが、アルゼンチンの優勝で幕を閉じました。この大会で、世界有数の強豪国ドイツとスペインを破り、グループ首位で決勝トーナメントに進出した日本チームに、日本国民が勇気づけられました。残念ながら前回大会準優勝国のクロアチアに接戦の末敗れ、目標としていたベスト8進出は果たせませんでした。日本チームへの賞賛の声は日本ばかりでなく、世界各国から寄せられています。

賞賛といえば、試合後にスタジアムの清掃を行う日本人サポーター、ロッカールームを美しく整えて去った日本チーム、さらにクロアチアに敗戦後、サポーターに深々とおじぎをする森保監督の姿がネット上で拡散され、世界の人々をうならせました。こうして日本のチームやサポーター、そして日本の文化が賞賛されることは、同じ日本人として誇らしく、素直にうれしい気持ちになります。日本の歴史、文化、教育。私たちには当たり前のものが、実は海外から見ると素晴らしいものであることを、今回のワールドカップは再認識させてくれたようです。

さて、新型コロナウイルス感染の第8波ですが、感染者は微増・微減を繰り返し、ほぼ横ばい状態のようです。しかし、年末年始にかけての人流の拡大や、新たな変異ウイルスの出現など、今後の感染拡大の懸念は消えません。少年センターの街頭補導活動も、再開と中止の繰り返しで、補導委員の皆さまにはご迷惑をおかけしています。補導委員の皆さまからも、感染の収束と街頭補導活動の再開を望む声が聞かれますが、感染状況を注視しながら活動の予定を連絡してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

年内余日を数えるばかりとなりましたが、皆さまには本年の少年センターへのご協力に感謝し、ご健勝にてよき年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。